



今月の話題

- 新センター長からの挨拶
- 組積造構造実験データベースの公開
- 満開の桜の下で花見を楽しむ
- 筑波山にて測定実験 (3月23日)

研修データベース

IISEENET (地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

E ラーニング

シノプシス・データベース (修士論文概要)

Bulletin データベース

新センター長からの挨拶

国際地震工学センター センター長 芝崎 文一郎

本4月1日付の人事異動により、小豆畑前センター長の後任として、国際地震工学センター長を拝命しました。

私は、1995年に建築研究所に入所して以来、国際地震工学研修の業務に携わってきました。これまでに、津波防災コースやグローバル地震観測研修のコースリーダーなどを担当し、主に津波と地震を学ぶ研修生を指導してきましたが、世界の各国からの多くの研修生に接することができました。

帰国研修員の多くが各国において指導的な立場でご活躍をされており、大変誇らしく思います。

国際地震工学研修が開始して以来、62年が経過していますが、世界の各地で今でも地震災害や津波災害は起きております。そのような状況から、国際地震工学研修を通じて、地震学、地震工学、津波学を理解し、地震・津波災害軽減に貢献する研究者や技術者の育成は非常に重要であると考えられます。

今後、センター長として、国際地震工学研修の継続・発展に貢献するよう鋭意努力致しますので、ご指導のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



国際地震工学センター
センター長
芝崎 文一郎

組積造構造実験データベースの公開

国際地震工学センター 研究員 大塚 悠里

組積造構造実験データベースが公開されました。本データベースは、レンガやコンクリートブロックを積み上げて構築される組積造壁のデータベースです。文献調査により、組積造壁を以下の図のように4種類に分類し、試験体の諸元、使用材料、実験データ等をまとめ、Excel形式で公開しました。また、本データベースを用いた分析や研究成果について、建築研究所より建築研究資料として公開されます。

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

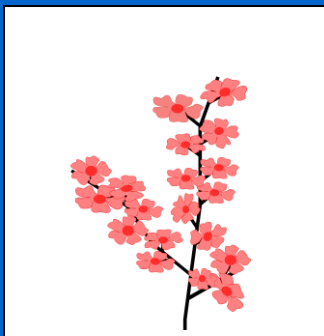
地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



満開の桜の下で花見を楽しむ

国際地震工学センター管理室長 山田 高広

3月30日(水)及び3月31日(木)、IISEEでは、研修員と国際地震工学センタースタッフで桜の木の下で記念撮影を行いました。この日は、お天気にも恵まれ、桜もちょうど見頃でした。桜の花は日本の国花であり、花言葉は「精神の美」となります。また、桜の花は下に向く花であり人々は家族、友人、勤務先の同僚らと桜の花の下で語り、記念撮影をして楽しく過ごします。IISEEの建物の周りには桜の木が多く、毎年3月下旬に満開になります。2022年の茨城県の天気は3月29日(火)が寒かったですが、前後の気温は春の陽気で桜が満開を迎えました。



連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願いします。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧下さい。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

研修生は、新型コロナ禍が続き大変ですが、感染予防を心がけ研修について頑張っていますが、ちょうど良い気分転換になったと思います。



地震工学コース



地震学・津波防災コース

筑波山にて測定実験(3月23日)

国際地震工学センター 管理室長 山田高広

3月23日午後、建築研究所の機材を使い、通年研修の地震学コース、地震工学コースの研修生が測定実習を行いました。

当日の天気は曇りでしたが雨ではなかったので無事実習が出来ました。なお、訪日出来ない研修生は録画したビデオを視聴しながら勉強となります。

